

## 注意点1



左手

## 人差指&amp;小指(薬指)の力加減を均等にせよ!

パワー・コードとは、ルートと5thという2音のみで作られるコードとなる。基本的に低音のルートは人差指、高音の5thは小指、または薬指で押さえるが(写真①&②)、2音を綺麗に鳴らすために、**人差指と小指(薬指)の弦を押さえる力加減を均等にすることが大切だ**。初心者には、2音をクリアに鳴らせるまで、くり返し練習しよう。



人差指と小指によるパワー・コード・フォーム。低音弦のミュートがしやすいなどのメリットがある。



人差指と薬指によるパワー・コード・フォーム。フィンガリング力の弱い初心者には、このフォームでもOKだ。

## 注意点2

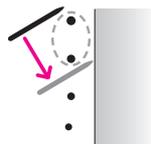


右手

## 弦にピックを埋め込むようにダウン・ピッキングしよう

メイン・フレーズのようなブリッジ・ミュートを掛けたパワー・コードは、発音が弱くなりがちだ。そこで、ピックを弦に埋め込む感じで弾いてみるとよいだろう。また、“2本の弦を弾く”というより、“**2本弦を1本の太い弦として弾く**”というイメージを持つのもポイントになる(図1&写真③&④)。

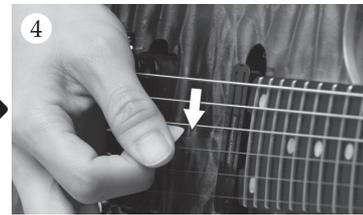
## 図1 2本弦のダウン・ピッキング



2本弦を1本の太い弦として捉えながら、ピックを弦に埋め込む感じで、鋭角的にダウン・ピッキングしてみよう。



パワー・コードのダウン・ピッキング。2本弦を1本の太い弦というイメージで弾くとよい。



さらに、ピックを弦に埋め込むようにピッキングすると、2本弦を的確に鳴らせるだろう。

## 注意点3



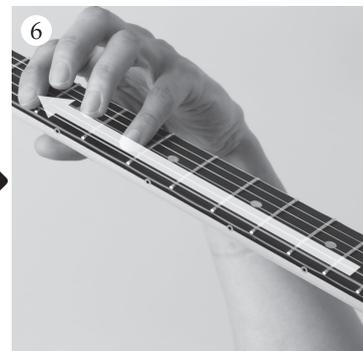
左手

## 指を弦の上で滑らせながらコードを変えるべし

メイン・フレーズ2小節目は、左手の大きな移動が登場するので気をつけよう(写真⑤&⑥)。初心者には、コード・チェンジしている途中で左手のフォームが崩れることがあるので、**手の力を抜き過ぎないようにしながら、指を弦の上で滑らせるように動かしてみしてほしい**。また、2本指の間隔をキープすることも大切だ。



メイン・フレーズ2小節目。2拍目で6弦7f & 5弦9fを押さえている時に、次の2f付近を目で確認しておこう。



3拍目。左手を大きく移動させる時には、手を弦から離さずに、軽く浮かせながら動かすとよい。